

平成 25 年 12 月 豊後大野市教育委員会定例会会議録

開催日時 平成 25 年 12 月 18 日 (水) 15 時 00 分

開催場所 豊後大野市役所 2 階 教育委員会室

出席者

教育委員 1 番 小野 育子、2 番 金丸 真法、4 番 植田 博美

執行部 久保田教育長、佐保教育総務課長、羽田学校給食共同調理場長、下田学校教育課長
坂本社会教育課長補佐、足立支局長兼中央公民館長、阿南教育総務課長補佐

欠席者

教育委員 3 番 田島 美智子

小野委員長 (あいさつのち、開会を宣す)

これより、平成 25 年 12 月豊後大野市教育委員会定例会を開会いたします。
最初に、会議規則第 8 条第 1 項第 2 号の規定に基づき、11 月 20 日開催の 11 月教育委員会定例会会議録の承認を求めます。この会議録につきましては、事前にお手元に送付され、委員各位もご覧のことと思います。つきましては、事務局からの説明を省略し、承認手続きを行いたいと考えます。それでは会議録について、一括して質問をお受けしたいと思えます。何かご質問はございませんか。

(委員より、なしの声あり)

小野委員長 無いようにございますので、11 月定例会会議録について、承認することにご異議ございませんか。

(委員一同異議なしの声)

小野委員長 異議なしと認め、承認をいたします。

次に、会議録署名委員の指名を行います。会議規則第 19 条の規定に基づき、4 番植田 博美 委員を指名します。

次に、会期の決定であります。議案等勘案いたしまして本日一日限りといたしたいと思えます。ご異議ございませんか。

(委員一同異議なしの声)

小野委員長 異議なしと認め、本日一日限りと決定いたします。次に、諸報告に入ります。はじめに教育長の説明を求めます。

教育長 (別紙行事報告書並びに 12 月教育委員会資料に基づき、報告をなす)

小野委員長 教育長の報告が終わりました。ご質問等がありましたら御願います。

(委員一同異議なしの声)

小野委員長 それでは無いようでしたら、次に各課の主要な報告を順次、簡潔にお願いいたします。初めに、教育総務課長。

教育総務課長 (別紙行事報告書並びに 12 月教育委員会資料に基づき、報告をなす)
第 4 回豊後大野市議会定例会について、本議会 議案 60 件 諮問 1 件
一般質問 (教育委員会関係質問・答弁)・一般会計補正予算について説明する。

小野委員長 次に、学校給食共同調理場長。

学校給食共同調理場長 (別紙報告書に基づき、報告をなす)
給食費の収納対策についても説明する。

小野委員長 次に、学校教育課長。

学校教育課長 (別紙報告書に基づき、報告をなす)

小野委員長 次に、社会教育課長。

社会教育課長補佐 (別紙報告書に基づき、報告をなす。)

小野委員長 次に、支局長兼公民館長。

公民館長 (別紙報告書に基づき、報告をなす。)
多目的ホールについても説明する。

小野委員長 以上、報告が終わりました。各課の報告に対して何かご質問等がありませんか。

小野委員長 ご説明を詳しくしていただきました、多目的ホールの件ですが、場所的の難しいという事は理解できますが、公民館学級生や市民にその都度説明をし理解していただくことが必要だと思います。周知の徹底をお願いします。

公民館長 先日の利用者の説明会においても、そのような意見をいただいております。この

計画の図面等出来ましたら、利用者会議等を開始しお知らせしご意見をいただきたいと思っています。

小野委員長 他に質問がありませんか。

植田委員 先般、12月15日にジオパークの認定シンポジウムがありました。まちづくり委員として出席しました。この頃、ジオの認定とか、ジオ何々という事で、積極的に取り組んでいることが目につきます。清川小学校の子どもたちの研究発表がとてもよく理解でき素晴らしく思いました。ジオパークとして認定され今後どうなっていくかわからなかったが、心強く感じました。あとは高齢者大学なども取り込んで、ジオを広げていけばと感じています。

小野委員長 消費税が引き上げられることで、給食費を100円上げる予定ですが、100円の根拠はどうしてですか。

給食場長 今回の給食費が5%かかってこの金額になっていますが、3%アップになれば105で割って、108をかければ100円ちょっとになります。10円単位は適当でないと考え今回は100円のアップが妥当だという事で、計算しています。

小野委員長 解放文化祭は団体も増え観客も多く内容も充実し前へ進んだと思えました。子どもたちも、先生たちも一生懸命になりとてもよかったと感じました。

小野委員長 他ありませんか。

(委員一同異議なしの声)

小野委員長 それでは、他に無いようにあります。本日の議事は就学援助の認定についてのみですので、先に協議案件を行います。その次にその他の項を行い、最後に議案第43号を行います。協議案件①土曜日授業についてを、学校教育課長より説明をお願いします。

学校教育課長 (別紙 土曜日授業 について説明)

小野委員長 このことについて、ご意見があればどうぞ。

植田委員 集団のインフルエンザ等や災害等が発生した場合の取り扱いはどうなりますか。今までは、インフルエンザが発生すれば、何人か休んだ人がいないと学級閉鎖にならないので、ことばは悪いですが、病気になる子を待って休みになっていますが、そういう時の対応にはできませんか。インフルエンザの兆しが出てきたときに思い

切って休んで早めの対応を取り、土曜日に授業を行うようなことはできるんですか。

学校教育課長 年間授業日数をたとえば 200 日と決定した場合、インフルエンザ等で特別休業となり、200 日を切るようなことになればその分を増やしてもらうことは可能だと思います。市教委が判断して第 3 土曜日を出校日にしますとしていますが、今のお話は、学校が判断をして休みにすることですが、その分を振替授業日に充てるとすれば、活用はできます。早めに休んで対応を取ることはやりやすくなると思います。

教育長 臨時休校は、病気だけでなく台風等で休む場合、教育課程を終わらなければならない時間があります。それをクリアしていれば特に代わりの日に出校することはしていませんでした。ただ今は、授業日数が逼迫している状況です、その中で臨時休校をしていくと、授業日数が足りなくなる場合にそれを補う場合にも活用しなければならないという事です。

小野委員長 土曜日の活用という事は大変いいことだと思います。中津が夏休みを短縮し授業に充てると聞きましたが、夏休みはかわいそうかなと思いました。

教育長 学校週 5 日制が決まった折に、ゆとりという言葉はあまりよくは受け取られていませんが、子どもたちをのびのびと過ごさせるために、地域の人と一緒に体験活動が必要だ、そのために土曜日が休みになりました。今度は元に戻そうという動きもあります。今の政権はその方針のようです。ただ勉強だけでなくいろんな体験を組み入れていくことも必要だという事です。毎週実施することは当面は困難だと思っています。

小野委員長 前向きに検討をお願いします。

植田委員 市民一般の人たちは、行政が決めればそれに従うことになります。週休二日制にして子供にゆとりを与え、今度はそれを取り消すのかという意見が出てくると思います。そのことを理解してもらうことが大切だし説得することが必要だと思います。私も含めて、理解を求めていかなければ事が進まないと思います。

教育長 それで、校長先生方にも意見を聞きながら原案を作って行こうと考えていますし、PTA 等や、市民の代表である議員にもきちんと伝え理解を求めていきたいと思いません。

小野委員長 政権が変わって制度が変わっていった場合は子どもたちが一番つらいと思います。広く理解を求めていただきたいと思います。
それでは次の項に入ってよろしいでしょうか。

(委員一同異議なしの声)

小野委員長 協議案件②全国学力学習状況調査についてを、学校教育課長より説明をお願いします。
ます。

学校教育課長 (別紙 全国学力学習状況調査 について説明)

小野委員長 説明が終わりました。何か質問がありませんか。

8月28日に県教委が集計した結果が、成果を上げている学校を出しています。その取り組みにおいて、個人的には学校の成果をちゃんと結果として、ある一定のレベルに達した学校だけを、市民および保護者に説明する責任はあるのではないかと考えています。今度の議会でも、教育に対しての質問が多かったと思います。それだけ市民が真剣になっている結果だと思っています。説明責任というのはあると思います。それを他町村の動向をみながらある程度は公表すべきだと思います。

教育長 一番心配なのは、これが進んでいくと結果が悪いのは学校の責任という事になっていきます。都会の学校はみんな塾に通っているので学力の心配はいらないようです。全部同じレベルで評価をするのならいいが、いろんな背景があって結果が出るので、結果だけが先に一人歩きをして、全部が悪いのは先生だ学校の責任だという話になりかねないことに、問題があるのかなと思います。

小野委員長 県教委が頑張っている学校を発表していましたが、豊後大野市の中の学校でも頑張っている学校はあります。その先生や生徒たちが報われるためには、良い結果が出て頑張れるのではと思います。

教育長 優秀なところの評価は4つがクリアできたところになりますので、豊後大野市内の学校も同じように頑張ったところも、クリアできたところとできないところがあります。公表を始めるとそれに対する心配りを考えていけないといけないと思います。

小野委員長 先生だけでなく学校の今後の取り組みなども必要だと思います。

教育長 同時に評価と改善点も一緒に出すことは良いと思います。

植田委員 公表するのは、全部を公表するのですか。頑張りが足りないところは、こういう取り組みをして今回はこれだけあがりましたという、公表の仕方はダメですか。全国では秋田が、学力、体力がトップですね。マスコミに取り上げられた時に、とにかく落ちこぼれを作らない。放課後は地域の方がボランティアで丸付けをしたりしています。町ぐるみで県ぐるみで、子どもたちの学力アップに取り組んでいます。

今は生活環境に差があつて経験できることできない子の差が小学校一年生で表れていると聞きます。地域ぐるみで行うことはとても大事だと思います。公表するときこういった部分をクローズアップして公表することはダメなのでしょうか。

学校教育課長 そういう方向でというのが元々のやり方ですが。私が心配しているのは公表の主旨から外れて、順位づけに走ってしまい一覧ができ、出さないでと言っても出てくる事が予想されます。学校ごとで点数を発表しないと公表にならないので取り組みと一緒に今の状況を公表すれば、点数だけを引っ張り出して大分県の学校に順位を付けた一覧が時間の問題で出てくることになると思います。市町村ごとは大分県は出しますので全国も同じように公表されると思います。取り組んでいる状況が分かればいいなと思いますが、どう私たちがそこに対して説明をしていくのか、整理していかないと数字だけが先行していいのかという事です。今ご指摘があった説明責任と頑張っている先生方と、子どもたちが自信をつけていく公表ができることがいいと思っています。公表は避けられないと思っています。意見を付けて公表に同意をしていくのかと思っています。他市の状況の同意については分かりません。今の状況では大分市、由布市、別府市が12月の会議の時点では同意をしない方向です。しかし来年の4月には同意をしてくるのではないかと思います。他の市の状況は分かりません。

教育長 植田委員の言ったようにきちんとした説明が学校、PTA、議員等に必要だと思います。

植田委員 PTAの保護者はこの事についてどのように思っているのでしょうか。

教育長 公表について相談したことはありません。

植田委員 もちろんそうでしょうが、いろいろ意見があると思うのですが、保護者の方たちはどういう風に思っているのでしょうか。

教育長 願いは一緒です。自分の子は人よりも上でありたいし、クラスの事、学校の事そして豊後大野市が良ければと思っています。

小野委員長 この件につきましては3月にという事ですので、まだ話し合う時間はありますので、1月にも行うと思います。その時にも議論していただきたいと思います。
その他、いじめの件数について説明願います。

学校教育課長 別紙豊後大野市における「いじめ」の認知件数について説明する

小野委員長 この件について質問ありませんか。

パソコンや携帯電話等で誹謗中傷やいやな事をされるの項は豊後大野市は無いように安心したんですが、先日の TRY 運動の会議の折に、千歳中学校の先生が、スマートフォンの使い方について子どもたちとともに学習しようという事で、講演会を行うと言っていました。この件についてテレビで取り上げられていましたので、豊後大野市はゼロですが、予防として教育委員会が講師を呼んで学校に派遣し学習機会を作れたのかと思いますが、その点はどうお考えですか。

学校教育課長 まず、この資料は平成 24 年度ですが、平成 25 年度はあります。携帯や、パソコンの中に誹謗中傷の件数があります。来年度の集約の中には入ってきます。先日保有台数の実態調査をしましたので、次回調査報告を行います。小学校一年生でもかなり保有しているようです。中学校は情報通信の取扱い、特に生徒指導上の問題の学習会を実施しています。それは警察関係の講師や教育センターなどいろんな関係機関から派遣してもらっています。それぞれの学校が課題とするものを PTA の学習会、講演会と一緒に実施しているところもあります。小学校はこの情報にまだ追いついていないので、台数調査等をまとめて校長会議に提案し次回豊後大野の状況を含めて提示させていただきたいと思います。

小野委員長 全国的にこれは問題になっているようです。使い方を誤らなければとても良いものですので、小学校まで早くおろしていただければと思います。

小野委員長 具体的には、次回提案されるようですので詳しくは次回でお願いします。よろしいですか。それでは次に、日程のことがございますので、教育総務課長から提案願います。

教育総務長 それでは、平成 26 年 1 月の定例教育委員会の日程についてご提案申し上げます。平成 25 年 1 月 22 日（水）午後 3 時 00 分から開催したいと思います。

小野委員長 平成 26 年 1 月 22 日（水）の午後 3 時 00 分から 1 月定例会開催の提案が有りました。皆さんよろしいですか。

(各委員異議なしの声)

小野委員長 それでは、1 月 22 日（水）の午後 3 時 00 分から平成 26 年 1 月定例会を開会予定と致します。

小野委員長 それでは何か他にありませんか。

(委員よりなしの声)

小野委員長 無いようですので、議案第 43 号 平成 25 年度豊後大野市立学校児童生徒就学援助の認定についての審議に入りたいと思います。関係課長のみ残っていただき、審議をいたしますので、他の課長さん方は退席をお願いいたします。休憩入ります。
(ときに 4 時 28 分)

小野委員長 それでは開議します。 (ときに 4 時 30 分)
それでは、議案第 43 号 平成 25 年度豊後大野市立学校児童生徒就学援助の認定についてを議題とします。教育長の説明を求めます。

教育長 (議案第 43 号について説明をなす)

学校教育課長 (議案第 43 号について詳細説明をなす)

小野委員長 説明が終了しましたので、そのようなことで説明を受けたいと思います。個別に説明を受け、随時、審議したいと思います。

深田主任より、個別に説明を受ける。
(個別にその都度、認定・不認定・保留等の決定を下す)

審査件数 3 件、
認定を可とするもの 3 件

小野委員長 議案第 43 号は、申請件数 3 件、認定 3 件と決定しました。他にありませんか。

(委員よりなしの声あり)

小野委員長 それでは、特に無いようにありますので、本日の日程は全て終了しました。平成 25 年 12 月教育委員会定例会を閉会します。ご協力ありがとうございました。

閉会 とき 1 6 時 35 分